

建築板金 ▶ 植木鉢の受け皿

「建築板金」とは、金属板を加工して、屋根工事（屋根材、雨ドイ等）、外壁・ダクト・水回り等の工事をする仕事です。



対象者

小学校
1～4年生

所要時間

90分

材料リスト

●銅板 [板厚 0.3mm 175φ] 参加者数分

使用工具リスト

- 各種打出し型 (200mm×300mm×15mm)
 - アクリルマット (120mm×120mm×5mm)
(200mm×200mm×5mm)
(150mm×150mm×5mm)
 - プラスチックハンマー (25φ)
 - V型絞りヤットコ (270型)
 - 手袋 (子供用Sサイズ)
(大人用M、Lサイズ)
 - ビニルテープ 1
 - 均し工具 (25mm×100φ)
 - 木製ヘラ (20mm×150mm×5mm)
 - 布 適宜
- 参加者 4～5名につき3
参加者数分
参加者 4～5名につき3

体験した児童・生徒の感想

- きれいに作れたことが、本当に楽しかったです。
- 板金という作業ができて、楽しかったです。すごく良かったので、またやりたいです。
- 指導者の人は、色々なことができて、すごかったです。

- 私も、大人になったら、指導者の人みたいに、板金をたくさん作って、名人になりたいです。
- 普段できないことをやらせてもらって、とても嬉しかったです。



担当教員の感想・要望など

- 依頼した理由
 - ① 普段の生活では体験できないことを、児童達に経験させたいと思いました。
 - ② ものづくりの楽しさを、実感してほしいと思いました。
- 感想・要望等
 - ① これからも、児童達に色々なものづくりの体験をさせたいと思います。
 - ② 保護者も、作品のできばえについて感心していました。
 - ③ 低学年の児童達を対象としながらも、事前の準備の周到さに頭が下がる思いでした。

作業工程の概要



- 銅板(厚0.3×364×1200mm)を175φに切断し、円の中心から半径65mmのケガキ線(円)を入れて、必要数を準備します。



- 手袋をして、丸い銅板を打出し型の模様が中心にくるように、テープで固定します。

- 銅板の上に半透明のアクリルマットを置き、模様のある所を、周囲から中心に向けて、プラスチックハンマーでたたきます(模様の出形を確認しながら、丁寧に力強くたたきます。)

仕上げ

- 丸銅板周囲のへり曲げ加工を行います(V型絞りヤットコで均等に絞りを入れます。デザインは各自の自由とし、サンプルも準備します。)

- 全体の歪みを補正します(指導者が行います。)

- 各自、布で汚れを取り、艶出しを行います。

学校側との事前調整事項等

- 実施場所(広さ・作業机等の設備環境)と、各学年の人数について確認を行いました。
- 学年別の活動内容について検討しました。(児童の発達段階を考慮し、低学年と中学年で作業内容に変化をつけました。)

▲安全作業上の注意事項

- 薄い金属板を扱い、切創事故につながりやすいので、注意を促します。
- 安全管理及び作業補助のため、指導者又は補助者等1名につき、児童6～7人の作業を見守ることができるように人員を配置します。

指導者からのアドバイスなど

- 安全に作業するため、周囲に気配りすることや、具体的に安全な行動を見せて、注意を促します。
- 興味を持ってもらえるように、話し方や見せ方を工夫して、楽しかったと感じてもらえる指導を心掛けます。
- 児童達が90分間、集中力を切らさずに一所懸命取り組んでくれて、終了時間になってもまだやりたい、楽しいと言ってくれたことが、何よりも嬉しかったです。

協力

- 新潟県技能振興コーナー (025-283-2155)
- 伊平 雅夫 (ものづくりマイスター：建築板金)
- 有明台ひまわりクラブ (新潟市立有明台小学校の児童)
- 社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会